

大阪府立茨田高等学校

## 令和5年度 第3回大阪府立茨田高等学校学校運営協議会 議事録

令和6年1月25日(木) 大阪府立茨田高等学校 会議室にて

委員：協議委員 [川村幸治、早坂三郎、寺野雅之、渡邊哲朗、綿世良一、滝本あゆみ]

本校委員 [松井くみ子、西岡宏二、紙本享介、野崎龍、西本敦史、

木原義憲、吉川力、南花子、下村真也、國見将、大東央靖]

欠席：綿世良一

記録：西本敦史

### 1. あいさつ (校長より)

### 2. 本年度の進捗状況と来年度の学校経営計画について

#### ●授業アンケート結果について

評価の値は、相変わらず高い数値を示している。質問項目8 [授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている。] では4点満点で3.60、質問項目9 [授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。] では3.62と伸び率も上がっている。

第1学年がないことも要因の一つといえるかもしれないが、教員の取組が数値に現れていると考えている。授業アンケートは、全体として満足度の高い状態が保たれている。

#### ●進路状況報告について

第3学年の就職内定率は、学校紹介就職に関しては100%の内定率を達成。公務員にも合格者が出ている。

#### ●学校教育自己診断集計について

\* 昨年との数値差では、生徒のマイナス率が比較的高く、保護者のマイナス率も高く、教員の方はマイナス率が低い。各診断において、回答数が100を切っているため、数値の比較では実態が表れなくなっている様相。

生徒

\* 生徒の部活動の項目は、部活加入率の実態とは違った数値が出ている。

\* 授業アンケートの数値は高いにも関わらず、項目2 [授業はわかりやすく楽しい。] では、かなり数値が下がっている。分析しかねる。

\* 行事についての項目では数値が大きく下がっているが、昨年の3年生による盛り上げが圧倒的だったことも一つの要因と感じている。ただ、3学年揃っていないことが最大要因かと思われる。

#### 保護者

\* 学校行事への参加についての項目では数値がかなり高くなっている。

\* 設問8 [学校は「いじめ」や「問題事象」に対して適切に指導している。] については、数値が下がっている。保護者への連絡等を密にとってはいるが、まだ足りない部分があるということだと考えている。教職員にはさらに密な連携ができるように取り組んでいる。

\* 生徒への対応や指導についてより保護者の理解を得られるようにしたい。

\* 個別最適な対応・指導について教職員研修を増やして取り組んでいる。

#### 教員

\* 項目1 [本校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。] については、教員数が少ない中で居場所の集約はしているが

\* 項目5 [本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。] については、生徒対応を丁寧に行っているのが結果に現れていると感じている。

#### <校長総括>

生徒・保護者の評価と教員の評価に乖離が起こっているのではないかと感じている。

教員は一生懸命やっているが、それが伝わっていない。もしくは、ニーズのずれがあるのかもしれない。

生徒・保護者のニーズに応えられていない部分には真摯に向き合っていきたい。

大きな課題だと感じている。

#### ●令和5年度学校経営計画について

\* 数値目標など、出ている結果を追記している。

#### ●令和6年度学校経営計画について（令和5年度学校経営計画を踏まえて）

\* 令和5年度の学校経営計画の結果も踏まえて策定した。

\* 年末に教職員で集まりアイデアを集め、それを元に具体的な取組みについて話し合いました。そこでの意見をたくさん盛り込んでいます。

・まず放課後活動の充実には力を入れる。部活動ではなくイベントデイを充実。

(茨田リビング) …居場所カフェ事業、音楽会、屋外スポーツなど

- ・避難所体験の取組みで宿泊する企画を考えている。防災師等にもご協力いただけるとのことです。
- ・教科横断的な取組を増やしていく。
- ・高齢者施設や保育施設など、外に出ていく取組みをしたい。
- ・地域との関わりでは、同窓会と地域協議会等に協力していただいて、壁画の製作も企画している。
- ・統合先の高校との交流についての希望が、生徒会から出ている。実現したい。
- ・同窓生（先輩）から、最後の在校生へ向けてお話していただくような取組みを考えている。協力をいただける見通しができている。
- ・新学習指導要領の3年生。どんどん外に出て色々な人と関われるようなことを盛り込んでいる。
- ・校外活動を多く実施したい。
- ・ホッとルームや茨田リビングでは、食事などをしながらでも話を聴いたりできる場、人（多世代）と関わる場を大切にしたい。（不登校生徒対策としても位置付ける）
- ・教員が、より話を聴いてくれたり、より困りごとに関わってくれることを望みたい。
- ・学校として保護者との協力体制を最大限強化していきたいと考えている。
- ・働き方改革の推進→分掌や会議の再編。
  - 長時間勤務はかなり減った印象だが、教職員減少に対応していく必要がある。
- ・閉校に関する業務について

### 3. 協議

テーマ：「最終年度の本校の教育活動のあり方を考える」

議長

\*テーマが簡単なようで難しいが、まずは、それぞれ委員の方々の茨田高校への思いを語っていただきたいです。

委員

イベントなどは飲食が絡むと生徒は喜ぶ。ものを食べれば話をする。自分たちで何かを作って、食べながらしゃべるといようなだけでも十分イベントとして成立する。避難所体験としても取り入れられるのではないかと。阪神淡路大震災の際の話で、2,000人の避難

者に対して1,000個のおにぎりしかなくて困ったという話があった。地域の避難計画と絡めてやることには大変意義がある。

アンケートに縛られず、やれることをやり尽くしてください。

#### 委員

過去の閉校した学校の経験だが、「お祭りをしよう」というような、「なんとか生徒を盛り上げて喜ばせてあげよう！」ということが大切。母校がなくなることは非常に大きなことです。卒業生などを巻き込めば大きなことができる。卒業生の思いを受け止められる体制を整えてほしい。過去の閉校した学校は、看板をたくさん作った取組があったそうです。

#### 委員

生徒たちのエネルギーを掻き立てれば更に満足度、思い出にのこるものになるのではないか。最後の学年最後の学校という思いで、不登校気味の生徒もたくさん登校してくれるようになればと思います。

#### 委員

- \*各アンケートの数値については解釈が難しい部分は否めない。
  - \*いじめ対策についての数値については、しっかりと対応して行ってほしい。
  - \*コミュニケーション総合について、協力を惜しみません。
  - \*学校経営計画に寄与するようなコーディネートをしたいと考えている。
  - \*災害に関する取組みでは、南海トラフ巨大地震は今後20年以内に起こることが予想される。いざというときが迫っているので、非常に重要な取組みかと思う。
  - \*最後の生徒たちにはこれまで以上に特別な思い出を残せるようにしてあげてほしい。
- 生徒自身の主体性を引き出すことが大切です。

#### 議長

最後にテーマについての意見として、ターゲットは、生徒が茨田で学んでよかった、成長したと思えること。そのために必要な取組みは、学校経営計画に盛り込まれている。生徒ひとりひとりのコミュニケーションの機会を作る「茨田リビング」は非常に重要な取組みになると考えます。先生と生徒の垣根を取り払うことも、先生自身の能力を向上させることになる。先生五者という言葉もある。

いろんな取組みについては、は大きなものを一つというよりも、細かくいろんな企画を打っていくことが大切だと思う。

進路の結果で気づいたが、生徒一人ひとりに寄り添った結果だと思います。

#### 4. 謝辞（校長より）

協議委員のみなさんのお墨付きをいただきまして、心置きなく取り組んで行くことができます。ありがとうございました。

#### 5. その他

##### ●次年度の実施日程について

\* 令和6年6月27日（木）

\* 令和6年11月7日（木）

\* 令和7年1月30日（木）

##### ●50周年記念式典および50周年記念祝賀会…令和6年12月7日（土）